

入野小学校 校長室だより

2016.1.8(金) No. 32 文責：芝

新しい年を迎えて

新年おめでとうございます。

今年の「お正月」の日中は暖かく感じるが多かったように思います。皆さん、年末年始をいかがお過ごしでしたか。

私事で恐縮ですが、年のせいか、この頃は新しい年を迎える度に「もうそんなに経っているのか…」と思うことばかりです。今年の黒潮町の成人式に出席して聞いたのが、新成人は「平成7年度の生まれ」ということ。「平成7年は阪神淡路大震災があった年だ」という話に「ああ、確かに…」と思ったのですが、「その頃に生まれた人が成人式を迎えた」となると、「えっ！もう、そんなに…」と今更ながら驚いてしまいます。時の流れに関しては、先を見ると遠く思う日々も、振り返ると短く感じる人が多いようです。

さて、入野小学校では新しい年の始まりと共に転入生1名を加えて、今年度最後の学期が始まりました。始業式では各学年とも今年度の仕上げを行いながら4月からを見通した取組にも頑張る学期だと伝えました。最も短い学期ですが、課題の解決に向けて頑張りを重ねて行きたいと思います。

2学期に子どもたち、保護者の皆さん、開かれた学校づくりの委員さんにアンケートをお願いしました。ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。結果のまとめは、また改めてお知らせします。

アンケートの「学校への要望」では、課題だと感じていることを具体的に示していただきました。学校として検討していくこととなりますが、難しい課題も多いというのが正直

な感想です。取りあえず動けることから動き、解決への糸口を見つけたいと考えています。

まず、取組を始めたのが「ベランダから地上への避難器具」の設置。防災学習で学んだのでしょうか、5年生から数多く出てきました。確かに入野小学校にはありません。この課題は私たち職員も見落としていました。今までの設備点検などでも指摘されたことはありませんから、法的な問題はないのですが、安全確保の面では何とかしたいことです。町への働きかけを強めたいと思います。

この避難器具の設置が実現したら、5年生のおかげ。「感謝！」です。5年生は「自分たちからの声があったからだ」と、誇りに思ってください。

ごちそうさまでした、の後

3学期初めての給食、写真は給食当番の子どもたちです。身支度は完璧！

今日は『鏡開きメニュー』とのことで、お雑煮が付いています。この中央の子が運んでいるのは、そのお雑煮。こぼさないように気をつけて運んでいるのが分かりますね。

ところで、入野小学校の「ごちそうさま」は少し変わっています。手を胸の前で合わせ、みんなで声を合わせて「ごちそうさまでした」を言った後で、手を「パン・パン」とたたきます。ですから、「ごちそうさまでした。パン・パン」が給食の終わりの合図なのです。

